

平成 30 年度第 2 回横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会	
日 時	日時：平成 30 年 11 月 22 日（木）14 時 00 分～16 時 00 分
開催場所	関内中央ビル 10 階 大会議室
出席者	青木委員、生田委員、内海委員、合田委員、佐伯委員、坂田委員、須藤委員、瀧澤委員、竹谷委員、田高委員、田中委員、中野委員、名和田委員、畑尻委員、米岡委員 (15名)
欠席者	赤羽委員、井上委員、西尾委員、福松委員、山田委員 (5名)
開催形式	公開（傍聴者 0 名）
議 題	議事【議事 1】平成 30 年度第 2 回分科会 3 の実施結果について 【議事 2】第 4 期横浜市地域福祉保健計画評価方法の確定について 【議事 3】パブリックコメント実施結果の公表について 【議事 4】第 4 期横浜市地域福祉保健計画 原案（案）について 報告【報告 1】平成 30 年度 社会福祉法人の地域貢献に係る地域協議会について 【報告 2】区地域福祉保健計画策定・推進指針の進捗について 【報告 3】今後のスケジュールについて
決定事項	【議事 1】平成 30 年度第 2 回分科会 3 の実施結果について、各委員から意見を聴取し、事務局案について、各委員の了承を得た。 【議事 2】第 4 期横浜市地域福祉保健計画評価方法の確定について、各委員から意見を聴取し、事務局案について、各委員の了承を得た。 【議事 3】パブリックコメント実施結果の公表について、各委員から意見を聴取し、各委員の了承を得た。 【議事 4】第 4 期横浜市地域福祉保健計画 原案（案）について、各委員から意見を聴取し、下記 2 点について名和田委員長預かりとし、その他は事務局案について、各委員の了承を得た。 ・重点項目のタイトルの短縮化の検討 ・推進の柱 3「多様な主体の連携」の中に生活協同組合の記載の追加検討
議 事	開会 (名和田委員長) 本日のメインの議題は、お手元の次第の(4)計画原案(案)について審議を行い、ご了承をいただき、さらに策定に向かうこととなります。他の議題も重要で、審議の時間も取っているため、十分にご議論をいただきたいと思っております。 議事 【議事 1】平成 30 年度第 2 回分科会 3 の実施結果について (事務局) 資料 1 について説明 (名和田委員長) 事務局より分科会 3 の実施結果の報告をしていただきました。中身については、第 4 期地域福祉保健計画の一部を成しているということで後ほど、原案(案)の中で議論できると思っております。現時点では、実施したという結果の報告について、ご質問がありましたらお願いします。また、成年後見制度については、大変関心が高まっており、パブリックコメントでもご意見を多くいただいております。

制度への関心が高まることはよいことであると考えています。この議事については、現時点でのご報告をいただいたということで、ご質問がなければ、次に進みます。

(一同) 了承。

【議事 2】第 4 期横浜市地域福祉保健計画評価方法の確定について

(事務局) 資料 2-1～2-2 について説明

(名和田委員長) 第 4 期計画から本格的に指標に基づいて評価をしていきたく、その方法について学識者がメンバーとなっている検討会で検討したという報告と、実際の手順と指標の方針を説明いただきました。第 1 回委員会でも出されていたので情報は随時お伝えしています。やってみないと分からないといった点もありますが、最終的にこのやり方でよしということでしたら本日ご了承いただきたいと思います。ご専門でいらっしゃる田高先生は、補足等がありますか。

(田高委員) ありません。

(名和田委員長) 私もこの検討会のメンバーでありましたが評価は得意ではないので、あまり知恵を出せませんでした。計画の評価は、以前から懸案となっており、お亡くなりになりました前委員長の森本先生のお知恵をかなりお借りし、かつ、事務局の実践的な知恵を盛り込み、ようやくここまで参りました。このやり方で第 4 期から評価を行い、どのように地域福祉保健の推進に役立つのか、実践的に実証すればよいと考えています。ご質問、ご意見等がありますか。

(田中委員) 前提条件データを見ましたが、上から 7 つ目、町内会の関係について、連合町内会に加入している町内会の数と、町内会の数が違うのは、連合町内会に加入していない町内会が 200 近くあるという理解でよろしいですか。

(事務局) おっしゃる通り連合町内会に加入していない町内会が 200 近くあるということです。なお、前提条件データは評価の対象ではなく、評価をするにあたり目指す方向性を決めるための前提の条件ということで挙げさせていただいています。

(名和田委員長) 連合町内会未加入の自治会があるのは知っていましたが、200 もあるとは知りませんでした。

(須藤委員) A3 の 3 頁重点項目 1-3 No. 20 多様性理解啓発プログラムの実施回数(当事者啓発事業等) の「多様性」とは、どのようなものでしょうか。

(事務局) こちらは、社会福祉協議会で行っているプログラムで認知症や障害理解を目的にした福祉教育プログラム等を想定しています。

(須藤委員) 少し曖昧な表現かと思いつつ、多分そうだろうと思っていました。

(名和田委員長) 他にないようなら、このやり方を委員会です承したことでよろしいでしょうか。

(一同) 了承。

(名和田委員長) 議事 2 は了承いただいたということで、次に進めます。

【議事3】パブリックコメント実施結果の公表について

(事務局) 資料3について説明

(名和田委員長) 実施結果を公表するという事で、この内容でホームページに出してよいか、質問や意見があればお願いします。中身については、前にも確認する機会があったと思いますので、このような形で市が対応するという回答をホームページに掲載する段階にあたり何かご意見はあるかということです。前に議論はしているので大丈夫でしょうか。ご了承いただいたということでよろしいでしょうか。

(一同) 了承。

(名和田委員長) それではこの内容で、ホームページにて公表することを委員会で承認したことにします。続いて4つ目の議事、原案(案)の(案)を取る作業に入ります。

【議事4】第4期横浜市地域福祉保健計画 原案(案)について

(事務局) 資料4-1～4-3について説明

(名和田委員長) 原案(案)というと先が長い気がしますが、議会の議決を経て正式な計画になるということです。ここでご了承いただいたら(案)が取れて原案になります。本日も議論いただいたもので議会にかけていく、ということでございますので、十分ご議論をいただいた上、原案としたいと思います。

資料4-2で示された、どのように修正をされたものかということについて、パブリックコメント等を受けてどのような修正をしたか、事前照会をして委員の皆様からいただいた意見でどのように修正したかご報告いただきました。全員ご発言いただける時間もあるので、是非、今後の計画の推進にあたって、重要視すべき点等についての感想などもいただければ、今後の我々にとって、非常に役に立つものになるかと考えます。重点項目ごとの活動指標と、目指す方向性については、今回の原案(案)で初めて掲載されており、これは事前にご覧いただき点検いただいたと思います。しかしながら、これについても、十分な点検をお願いしたいと思います。ご質問、ご意見、今後の推進のご感想等、どなたからでもよいのでお願いします。

(竹谷委員) 皆さんの非常に大変な努力でよいものが出来たと思っています。ただ、実際にここで委員を務めさせていただきながら、私は6月から地区社会福祉協議会の会長をやり、なかなか思うようにいかないことがよくわかりました。一つの例として、ここに書かれている内容はよいが、実際にやる時は大変だと感想を述べさせていただきたい。

原案のP34～35にかけて、ここでは現状と課題と書いてあるのであえて言うが、先程どなたかから質問が出たように、実際にこの作業を分担してやるのは、地区社会福祉協議会であり連合町内会です。数字でも示されているように、連合会町内会に加入していない自治会町内会が10%、自治会に加入されていない個人の方が30%ありますが、これらにより、作業を進める上でいろいろ不具合が生じてきます。ひとつには、連携を進めると書いてあり、その通りではありますが、実際に連携を進

めるあたりどこがイニシアティブを取るかについては大変困っています。これは、行政の方にも以前意見を言ったが、是非、局の役割を超えてやって欲しいということです。自治会関係は区政推進課や地域振興課で、地域福祉保健は福祉保健センターの各課ということで、地域福祉保健のために自治会と地区社会福祉協議会の両方集めて何かやることはありません。そのために、地域で自治会と地区社会福祉協議会のどちらに主導権があるのか、自治会が強いところ、地区社会福祉協議会が強いところがあり、常に中には不満があります。具体的には、地区社会福祉協議会の資金は会員から集めるということになっており、補助金以外には、会員の定義がありません。文章から見ると関係団体とありますが、会員は関係団体であるため、その代表が会員ということになります。ではいくら会費を払ってもらうか、もしくは、地区社会福祉協議会の活動に何人提供してもらうかということになります。しかしながら、それでは、地区社会福祉協議会の役割は何かという話になり、その部分は自治会がやるから地区社会福祉協議会は関係ないとなります。私の関係先であるシニアクラブは特にそこが難しい状況です。

殆どの関係団体は、連合町内会で推薦されて出てきますが、シニアクラブだけは自治会に関係なく出てくるので、どちらの指揮を受けて組織をまとめるかが難しくなっています。その部分がうまくいかず、実際に実行しようと思っても難しいのが現状です。このあたりは、もう少し行政で地域福祉をやる方々に突っ込んでやって欲しいと思います。実際、仕事をやる主体は、連合町内会でやらなくてはいけないと考えています。それに対して、実行部隊を持たない地区社会福祉協議会は、それをサポートする形がよいと考えて進めていますが、そのあたりをきちんとしないとこれから深刻な問題に対応しなくてはいけなくなり、現場は乱れてくると思いました。この部分をきちんと整理されたら現場はやりやすいと感じます。

(名和田委員長) 原案は原案として良くできています。これを実現する上ではこのような地域の構造がある、と栄区における地域の活動の視点からお話いただきました。皆さん、経験が豊富なので理解されたかと思います。

(畑尻委員) 連合町内会の話がたくさん出ました。私の立場から、原案(案)は非常にきめ細かに書かれていて感心しました。感謝したいと思います。ただ一つ言いたいのは、実行できるものでないといけないと思います。やらないと意味はありません。私は、連合町内会と地区社会福祉協議会の会長をしています。分野別に連合と町内会と分けてやり、民生委員と地区社会福祉協議会関係と分けてやっているのもそれなりに上手くいっていると思っていますが、それぞれ考え方が違うし、自治会町内会の方が動きは鈍いと思います。実際に動いてくれるのは民生委員です。地域によって違うかと思います。加入率の問題が出ていますが、自治会町内会に入るメリットがあるかとよく聞かれます。自治会町内会に入らなければ自治会費を払わなくてよいし、入ったために順番で役員が回ってくるのも嫌がられます。情報は掲示板でよいわけですから自治会町内会に入るとこれだけのメリットがあると示さないといけないと区連合町内会長会議で言っています。何か目玉がないと、どんどん加

入率が減ってくると危惧しています。本当にこの冊子をよくまとめていただき、横浜市民として誇りに思います。一部でもよいかから実施しないと意味がないと言いたいです。

(名和田委員長) 原案(案)に対して非常に心強い激励をいただきました。計画は作るだけでなく実行しないと、という叱咤激励もいただきました。いくつかの視点について、非常に含蓄のあるご指摘もいただきました。ありがとうございます。

(合田委員) 今回の計画について、よくまとめていただきありがとうございました。地域福祉は計画がいくら立派でもやらなくては意味がないというところが一番大きな問題だと感じています。いかに実践できるかを考えた際に、今の計画づくりは、次期計画の策定に向けて2年間丸々かけるのは長過ぎるのではないかと感じました。今回の件については、3月に議会の議決を経て、来年の4月から何かができるかという疑問があります。そう考えると、1年半程度で議論をして、議会の承認をいただいた後、準備期間を充分にとって、次期計画のスタートができればいいのにと感じます。5年間のうち2年間を計画策定に使うのは、実践にブレーキをかけているのではないかと思います。次の計画時にはそのような短縮も期待します。

もう一点は、区計画と地区別計画が市計画に2年遅れであるが、最初スタートした際、このようなスタートの差があったので仕方がないという見方もありつつ、やはりどこかで同じ時期でスタートすることを目指すべきと感じます。今は区の活動が活発で、地域福祉は区が先頭になってやるべきものなので、市が作った目標を踏まえて区がやるという運営方法は違うのではないかと感じます。今回は、市で成年後見の問題で新しい提案が出てきたのでよいが、市の方にはあるが、区の方にはないということになります。どこかの時点で2年間のずれを解消していただければよいと思いました。

(名和田委員長) 事務局の現時点での考えはありますか。

(事務局) 市計画について、2年間の策定期間を経て計画の推進になるが、おっしゃるとおりです。今回、たまたま議会の日程等、策定スケジュールの関係でこうなったが、次回以降意見を踏まえて少し早めに計画ができるようにしたいと思います。区計画と市計画を同時期に策定というご意見だが、他の方からもそのような意見をいただいています。現在は市計画で基本的な理念や考え方を示し、その後、区計画と住民主体の地区別計画を作ってもらっています。区計画は、計画を作るだけでなく地区別計画も一緒に作業をするので、いただいたご意見を参考にさせていただき、区の方の意見を聞きながら進めたいと思います。

(米岡委員) 私達もこれから地区別計画を考えなくてはいいませんが、資料編がとても膨大な量ですが、とても親切で役立つと思いました。これからは、このような世の中になるとわかりやすかったです。また、コラムを読んでいて嬉しく思いました。私のところも取り上げてもらい励みになりました。先ほど、連合町内会と地区社会福祉協議会の話がありましたが、私の地区では、表裏一体で上手くいっています。自治会長が自分の町内は自分が責任持ってやらなくてはいいけないという認識ができ

ているので、自治会長と地区社会福祉協議会がうまくいっていると感じます。

今回、とつてもよいものを作っていただいたと喜んでます。

(内海委員) 内容上、問題なく過不足なく重要な点は一通りきちんと取り上げられていると感じました。取組の内容がわかりにくいものについては、コラムで具体例を出して理解を高めるような構成になっているので非常によいです。ただ、パブリックコメントで難しいと言われたものについて、解説を付ける等工夫をしていますが、私はもうひとつ、取組項目のタイトルが長いことが気になります。普通は暗記するぐらいでないと地域住民の方の頭に入らないと感じます。P25 に取組の一覧があるのでよくわかります。極端なのは、柱2-2が2行に渡ります。これは結局どこを読むのかと感じます。短く言うと地域の生活課題の調整・解決の工夫ということですが、関係機関や支援機関の連携・協働で進めるという意味合いだと思います。例えば、「連携・協働による地域の生活課題の調整・解決・仕組みの充実」と書けば、どこかと一緒にやると伝わるかと思います。そして、下の項目を読むとわかるので、あえて長く引きずる必要はないのではと気になりました。何が重要であるかという点が、タイトルで伝わりづらくなっているように思いました。他には、柱1、全体の柱が「地域福祉保健活動推進のための基盤づくり」と言っているので、柱1-2、柱1-4も全部地域福祉保健活動という言葉を入れていますが、「活動を推進する関係組織団体への支援」と言えばそれで十分なのではないでしょうか。漢字がずらずら並んでいるので何が重要かわかりにくいです。そこを改善するとだいぶ印象が変わるかと思います。1-4は「活動のための人材づくり」と言えば、柱1は、地域保健活動に対する基盤づくりのことなので繰り返す必要はないと思いました。

柱2で3箇所ほど体言止めでなく「進める」とある。2-2-1、2-2-2の3箇所が体言止めになっていないが、これは「仕組みづくり」ではいけないのでしょうか。内容上の問題ではありませんが、わかりやすさは、解説の問題だけではなく、パッと見た時の印象、それが何の項目であるのかということが伝わるということも、タイトルの大事な役割と感じますので、あまり説明調で長くしてしまうと、意図が伝わりにくくなると感じました。

(名和田委員長) 内海先生のご指摘がそこに集約しているのは、都市計画の手法からであろうと思います。わかりやすさの問題は解説の中身もそうだが、見た目もあるので都市計画らしいご指摘をありがとうございます。短ければ短いほどよいということです。

(事務局) 頂いた意見を事務局の中で検討させていただき対応を考えたいと思います。

(名和田委員長) 本計画は先程の図のように専門別計画の根底に通じています。区計画でも評価する時、いろいろな課の事業と関わっているので、個々の柱、重点項目を抜き出して検討することも多いため、いちいち入っていた方がわかりやすいこともあるかもしれません。タイトルの短縮化については、私に一任して事務局と相談して決めるということでご承認いただけますか。

(一同) 承認。

(名和田委員長) パブリックコメントでも、わかりにくいというご意見が意外と多かったとは思っているので、そのようなところに問題があるのかもしれませんが。ほかのご意見もいただければと思います。

(生田委員) 追加された中で、5頁、地域共生社会と我が事、丸ごとが入ってきたことが担当としてありがたいと感じています。今までボランティアされている方、サービスを受けている方だけではなく、皆が当事者であり提供者であることは、地域の理想だと感じます。2章柱3が対応しており、とてもよく書けているとは思いますが、先ほどからも言われている通り、これが実行されていかないと意味がないので、少しお願いがあります。町内会に入ってくれないとか、若い方やお仕事されている方が地域に参加されず当事者意識が薄いと思うが、地域ケアプラザで仕事をしているとよくわかるが、そのような方でも何かのきっかけで地域の活動に参加すると意識が高くなり何かの活動につながってくれるということが多々あります。そのような意味では、敷居が高い集まりをするのではなく、なんだっけ福祉につながるという視点で、地域の活動になかなか関わらない人が参加してくれる取組や来てくれた方にメリットがある活動を考えるとよいのかなと思います。そのような意味でも、横浜市のウォーキングポイントは本当に良かったと思います。リーダーを地域ケアプラザに置いていると、これまで来なかった世代、人が来てくれたということがあります。そのため、内容がどうのではなく地域の方々に関わってもらうのに、福祉の活動以外の皆で楽しめるものを地域で開発していきたいと思います。もう一点、住民というより企業や学校についてですが、今まで特に株式会社のような企業とコラボして何かやるとあまりよい顔をされなかった時代もありましたが、企業も活動をする上では何かしらのメリットを求めています。それも含んで、企業にも少し華を持っていただき、ウィンウィンの関係ができると企業も参加しやすいと思います。社会福祉法人は営利目的ではないので、もちろんやっていきたいと思います。その点、学校はなかなかうまくいかないことが多く、保育園、幼稚園はよいが、学校に入ると地域から縁遠くなるので、今回、学校のことも書いていただいたので、学校にも周知していただき、うまくやっていきたいと思います。

(名和田委員長) 学校は第3期計画でも話題になり、今回も書いてあります。

(佐伯委員) 学校でもカリキュラムに沿って総合学習の授業があり、福祉について学んでいます。小学校高学年が、地域ケアプラザに行ったり老人ホームに行ったりしてシニアの方にふれあう機会を作っています。ただ、カリキュラムがあるので、いつでもというわけにはいきません。また、子どもたちの学びたいという気持ちを引き出して総合学習の授業が作られているので、先生の方から押し付けができません。どうやって子どもの興味をそこに持っていかは先生のテクニックです。子ども達の中から地域のシニアの方とふれあいたいという気持ちが出てくると、すぐにでも地域ケアプラザの方の助けを借りたいとなります。「横浜教育ビジョン 2030」にもあるが、地域と子どもたちがつながっていく機会を作ろうというビジョンもですので、今後はもっともっと進展していくといいと思います。

(名和田委員長) 私の関わっている学校の先生の動きは良くなっていると感じています。教育上のことと、カリキュラム上の問題はありますが、学校の先生の地域への関心は高まっていると私個人は感じますのでよい連携ができるとよいと感じています。

(青木委員) この第4期計画はよくまとまっていて、全てが網羅されています。ただ、横浜市として、このようなあり方がよいと思いますが、18区は区により特徴があり、その下の連合を見ても、新しい人ばかりだとか長い方がいるなど地域性があります。そこを踏まえた上で、第4期で、これから一番重要なのは、高齢者が増えてくることです。2025年には65歳の高齢者が97万人、2030年には100万人になるという数字が出ています。高齢者の方の命と財産を守るという観点で、平成28年に成年後見制度の利用の促進に関する法律はできましたが、地域でどう進めたらよいのかが重要になってくると思います。第4期計画の中に成年後見に関わる項目があるので、この広報・周知活動等を横浜市から、区、地区で一斉にやってもらいたいと思います。これができれば横浜市は笑顔の町になるだろうと思います。

18区の特徴を生かし、地区では、各地区連合町内会で特にこれに力を入れていこうとすれば、この計画冊子は、よいバイブルになるだろうと感じます。

(中野委員) とてもよい計画が出来上がったと非力な私も混ぜていただき光栄です。ただ、あまりにも素晴らしくバイブルのように本棚に立てかけると意味がありません。この後、各地区、団体で読み合わせ、皆で何かにぶつかったとき、「皆でこの頁を読んでみようか」と使えるプランになるともっと生きると感じました。それから、私がある瀬谷区で、地福計画を実行するのは住民主体だが、住民にもいろいろな考え方や世代間の違いがある中、ありがたいのが地区別支援チームの存在です。区役所の職員が横断的に関わってくれていることで、やるのは市民だが後押ししてくれる組織があるお陰で住民の気持ちが一途に続けることが出来ているなあと、ありがたいと思っています。加入率の話では、この間の北海道の一斉停電等の事例もありますが、あのような事例を乗り切るには、アウトドア派の若い方が、意外と学校の体育館で寝るのは嫌だけどテントなら大丈夫等のことがあります。ノウハウを持っている若い方たちに、「バーベキュー大会をやるよ」と呼びかけたり、「火起こしの技術を子ども達に伝えるから教えて」等、参加するのにメリットがないとだめという意見もありましたが、もらうよりお裾分けしたほうが嬉しいというものもあるので、若い方からお裾分けがいただけるような具体的なプランができればよい、もっと活発になると思いました。

(名和田委員長) 計画の運用性を考えると使える計画がよいです。そのことも、各区の推進委員会の場などで話せるとよいと思います。

(竹谷委員) 先程、難しいと言いましたが、解決の努力をしていないと思われるといけないので、お話しておきたいのは、私のところは、区の第3期計画の推進のため、自治会長を主体、社会福祉協議会はそのスタッフと位置づけ、組織づくりを行った。私は福祉部会、この地域福祉保健計画をやる目的は、最初のテーマは、生活困窮者に対して、そっと見つけて、「ちょっとした親切でそっと見守り」という言葉で進め

ようとなりました。そのために生活困窮者の定義の勉強会もやり、100人位が集まり、生活困窮者について、「生活保護の方は、生活保護をもらって救われているから生活困窮者ではない」等、勉強をしました。大きな成果を挙げたのは、実際、主体を自治会にやってもらったので、自治会の中での地域福祉への理解度が跳ね上がりました。今までは地区社会福祉協議会だけでやって、民生委員が努力してやっていたが、自治会に主体を置いてやってもらったら、直ちに話が広がりました。「ちょっとした親切、見守り」について、小さな親切大きなお世話の拒絶反応がある世代にも遠慮なく SOS が出せるような工夫はどうしたらよいか、100人のメンバーで2時間話し合い、一步前に進むことができたと思っています。今後も、地域の方針として、自治会長に主導権を持ってもらい、それ以外の団体はそのサポートをする形で部会を作り、1ヶ月に1回話し合っ、実践するところまで来ています。実際には、難しいから投げ出しているのではなく、取り組んでいることについて、お話をさせていただきました。

(名和田委員長) 貴重な取組のご紹介をいただきました。

(坂田委員) 権利擁護について、私も分科会3に参加して話を伺いました。主な取組の中で、成年後見制度の取組の広報が進まないのは、あまりに難しいこと、敷居が高いことが理由かなと思うところがあります。原案(案)に記載してある、対象者に合わせたパンフレットや動画・ビデオ等の作成とありますが、それは具体的に作る予定はありますか。中核機関の設置や協議会のわかりやすい説明もどこかに載せていただきたいです。

(名和田委員長) 事務局から、成年後見関係については、説明を足していただきたいと思っています。

(事務局) 分科会3の中で、動画等を活用し、利用当事者だけでなく、制度そのものを身近に感じてもらう必要がある旨の発言がありました。そのご提案の際には、「ユーチューブのような身近なところで見られる媒体を活用して」と言われたので、現在検討を行っています。中核機関についてわかりにくいとのご意見ですが、イメージ図について、資料編のP151に載っています。国の方で示している図なので、確かにこれだけではわかりにくいので今後、横浜市で運営していく中核機関については、しっかり分かるように周知をしていきたいと思っています。ご意見ありがとうございます。

(坂田委員) P73にコラムで障害者後見的支援制度の説明がわかりやすくあり、ありがとうございます。後見的支援制度の登録者も1,400人を超えているらしいので、それも挙げてもらえるとよいかと思います。

(名和田委員長) P151の図は、国が作っているものだが、横浜市で運営していく中核機関については、今後事務局で検討し、周知していただけるとのことです。委員会からもそのようなお願いしたいと思います。

(須藤委員) 発達障害のところで、企業の話がありましたが、障害者と企業のつながりについては、福祉というと元気な高齢者を想像するが、障害があつて社会参加の機会

が少ない方が自分自身の居場所を獲得していくことを支える場としての企業もあります。国でも、障害者雇用の話題にあったが、横浜市でもいろいろサポートしてくれています。それに賛同し協力してくれる企業もあり、生活サポートステーションや就労訓練もやっているが、それが実現できるよう、企業の応援もしていただき、これが実現できるようにしてもらいたいと思います。障害があると将来的に仕事に就けないのではという不安もあり、成年後見制度もありますが、それより前に自分で働けるようになるとよいと感じます

(名和田委員長) 最近話題になっている重要なことです。個人的な経験ではありますが、一緒に活動している仲間に身体障害の方がいて、職場の状況を話してくれることがあります。なかなか厳しいものがあると聞きます。話を聞いていると雇用されたらされたで、ちゃんと人間の尊厳に叶う扱いを受けるようにすることも重要だと思います。

(瀧澤委員) 私は市民後見人を受任しており、3月に対象の方が亡くなり、身内がいなかったのので、納骨まで全部私が行いました。個人としては、成年後見制度は必要な制度だと思います。しかし、私の子どもも知的障害と自閉症があり養護学校に通っていますが、まだ子どもにはどうかなと思うこともあります。私自身は、マンション暮らしですが、地域の中で生きていくと感じる。町内会に入ると大変と言われていますが、意外と町内会の方には助けていただいています。一緒に駅まで行ってくれる等、鶴見区がよいからなのか、東北の田舎に住んでいた時とあまり変わらないやり方で暮らせています。本日の会議も、娘の帰宅時間ぎりぎりですが、友人が鍵をもって家で留守番をしてくれていて地域生活で困っていることはありません。お買い物も誰かが代わってくれたりしています。しかし、それは私が声をあげられるからであり、声をあげられない方は困っていると思います。子育てボランティアもさせてもらっていますが、絵本を読みに行く 15 分くらいでも皆さん癒やされると言われます。高齢者も出て行かれる方ばかりではないので、こちらから働きかける何かがあるとよいと感じます。

また、私は PTA 会長をしています。誰もやる人がいないからです。お仕事されている方も多く、地域に人がいないこともあります。自分も娘の具合が悪い時会議に出られない等色々ありますが、今はいろいろなツールがあるので、LINE 電話で顔だけ出すのもありだと思っています。原案(案)には全てのことが網羅されていると思うので、本当に実現していただきたいと感じます。自分も市民の一人として取り組んでいきたいと思いました。

(名和田委員長) 目一杯活動されていて、どこかのコラムに載ってもよいくらいです。参加の仕方について、テレビ電話でも参加出来るという話は、策定・推進委員会で出たのは初めてなので、今後の検討に入れたいという気がします。

(田中委員) P24 推進の柱 3 で「多様な主体等の連携」について、既に横浜市で生活協同組合との関係は、いろいろやられているが載ってこないのでしょうか。市民団体で一番大きな組織は生活協同組合です。今後の中で協同組合の言葉をどこかに入れて

もりたいというのが率直な感想です。本文に載らないのなら、P89 の下のコラムの協働スペースのところに協同組合は入れられないかという、事前に出すべきかと思いましたが、率直な要望です。一箇所、輸送サービスのところで出てきますが、今、協同組合は非常に多様な活動をやっています。協同組合の場合は、生活協同組合だけではなく農業協同組合も含めた部門で、大きな組織であるので、ぜひ今後、笑顔プランそのものを生活協同組合の横浜運営協議会に持ちこんで議論されると新しい展開が始まるのではないかと思います。また、今ごみ屋敷の現在数はどのくらいあるかわかったら教えていただきたい。

(事務局) 生活協同組合は、計画の中で具体的な文言としては、出てきません。今やっている事例の一つになりますが、見守りの関係で、孤立死予防に関する事業で、ゆるやかな見守りとして、本来業務の中で気づいた時に協力していただくという事例があります。基本的には、個別の団体名等の表記は全体でも出していないので、こちらの調整についても、文言の整理と合わせて名和田委員長と相談したいと思います。ごみ屋敷の件数は、平成 30 年 3 月末で 70 件、昨年の 4 月 1 日では 67 件だったので、ほぼ横ばい状態だが、増えている部分、排出する活動もあるということだと思います。

(名和田委員長) 横ばいでいられるのは地域の方のご協力のお蔭だろうと思います。協同組合は非常に重要な事業体で、かつ労働者協同組合の法律が日本にはないので NPO 法人等として、実質上ワーカーズが動いている状況です。計画への表記については、事務局と相談したいと思います。

(内海委員) 確かに、特に横浜は多いです。

(米岡委員) 今、西区ではワンルームマンションが乱立しています。本当に狭いところに若い方が入ってきて、その方も結婚されれば出るのだろうが、生涯そこで過ごす方もいるのではないかと推察します。ごみ出しの問題、自転車の問題などがあります。それでも災害時には助けてもらえるから一緒に考えたいが、寝に帰って来るだけで、ごみは出しっぱなしでカラスにやられるなど困っています。この計画の中に何も出てこないのではよいのかという思いがしました。

(名和田委員長) 今の点は非常に重要な点です。事務局からの報告の中のパブリックコメント No.8 に関係しています。様々な分野に跨る課題があり、地域福祉保健の立場で受け止められる様な課題というのは、今の話はまさにそうで、地域の力になり得る人の対処をすることにより、むしろ積極的な面が現れるかもしれないということです。その観点で、こういった問題にあたるのが大事かと思えます。考え方としてはこの計画に含まれる問題だと思います。このプランの中にはその姿勢が書き込まれているというのは確かだと思います。これからの実現に向けて、また共有していきたい情報をいただきました。

(中野委員) 生活協働組合の件に付け足しで、横浜市がしている買い物サポート事業、数年前から始まったが、生活協働組合がいくつものエリアで参加しておられました。横浜市の福祉有償運送にも生活協同組合が事業所として登録しており、実績活動は

かなりあると感じています。私も普段は引きこもり寝たきり老人で暮らしているが、我が家の買い物サポートもやってもらっています。

(田高委員) 第4期素案2頁に「地域福祉保健とは」という定義があります。これを拠り所にした計画であり、この委員会で特に地福と呼ばれている時も地域福祉と地域保健の双方を指しているものと考えてきました。高齢化のスピードが進んで来ると疾病障害を持つ人の数が増え、その期間が延長することがはっきりしています。そのことは、介護費、医療費等、様々な社会保障費に直結します。生活課題、健康問題でも予防を重視し、次の計画では予防文化を皆で作ってあげてほしいと感じました。

(名和田委員長) この後、報告が3つあります。重要な議事(4)については、皆様に議論いただき原案としていくつか修正はあるがこれで了承ということですのでよろしいでしょうか。

(一同) 了承。

(名和田委員長) 本当に地域目線でよいものが出来たと思います。私の感想は計画冊子の端書きに書きますが、先週の土曜日に瀬谷区で健康づくりのテーマで地福計画シンポジウムがあり、「地域のなり手が細まっているのをどうするのか」という質問を受けて、パネラーは「第4期計画を検討する上で正面から向き合わなくてはいけない」とおっしゃっていました。地域や区でも第4期計画に向けた機運が高まっていると感じました。市の計画がこのような充実した内容で出てくるのはよいタイミングだと思います。改めまして、皆様に感謝申し上げます。

報告

【報告1】平成30年度 社会福祉法人の地域貢献に係る地域協議会について

(事務局) 資料5について説明

実際にまちで活動されている方は、法人施設の専門的スキルや専門的施設を使えるのはありがたいとお話がありました。推進に向けて、地域ごとにいかに地域の課題を解決していくかが大事で、一律に仕組み、事業を作っただけではなく、点を面に広げて行くのが実態としてよいとの話もありました。現在の取組はされているが見えてこない現状があるというところでは、実際に個々の課題にどう向き合っただう解決していったか話し合える場があるとよいとのことでした。このテーマでは、昨年度以来、社会福祉協議会にも期待されています。加えて、地域ケアプラザにもそのような役割があるだろうとのことでした。こちらは年1回、開催しております。ここにいただいた意見を含め、各区の社会福祉協議会とともに今後も社会福祉法人の地域貢献を進めていきたいと思っています。

【報告2】区地域福祉保健計画策定・推進指針の進捗について

(事務局) 資料6について説明

【報告3】今後のスケジュールについて

	<p>(事務局) 資料7について説明</p> <p>(名和田委員長) 以上で予定した議案は終了します。貴重なご意見をありがとうございました。よろしかったら議事を終え進行を事務局にお返しします。</p> <p>(事務局) 来年3月頃に横浜市地域福祉保健計画・横浜市地域福祉活動計画検討会を実施予定です。詳細につきましては、またご連絡させていただきます。本日は、ありがとうございました。</p> <p>閉会</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特記事項</p>	<p>○平成 30 年度第2回横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会 次第</p> <p>○横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会 委員名簿・事務局名簿 ※</p> <p>○横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会運営要綱 ※</p> <p>○横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会概要</p> <p>○平成 30 年度第2回分科会3の実施結果について <資料1></p> <p>○第4期横浜市地域福祉保健計画 第4回評価検討会の振り返り <資料2-1></p> <p>○第4期横浜市地域福祉保健計画 評価について <資料2-2></p> <p>○第4期横浜市地域福祉保健計画素案に係るパブリックコメント実施結果について <資料3></p> <p>○第4期横浜市地域福祉保健計画(よこはま笑顔プラン)原案(案)【概要】 <資料4-1></p> <p>○第4期横浜市地域福祉保健計画(素案)からの主な修正・追加点について <資料4-2></p> <p>○第4期横浜市地域福祉保健計画 (よこはま笑顔プラン) 原案 (案) <資料4-3></p> <p>○平成 30 年度 社会福祉法人の地域貢献に係る地域協議会について (報告) <資料5></p> <p>○区地域福祉保健計画策定・推進指針検討会の進捗報告について <資料6></p> <p>○第4期横浜市地域福祉保健計画策定スケジュール 平成 30 年度 <資料7></p> <p>(※当日配布資料)</p>